

浪工会 NAMIKOKAI 会報

発行 ● 星翔高等学校浪工会 〒566-0022 摂津市三島3-5-36 TEL.06-6381-0220 FAX.06-6383-4822 発行日 ● 平成20年9月1日



祝典開催の喜び

浪工会会長

小林 貞夫

戦後間もない時期に通学を始め、昭和二十八年に卒業、半世紀以上の月日を経た今も自分の人生を形作ってくれた母校の有り難さを痛感しています。浪速工業学校から工業高校併設中学へ、当時はあつた夜間の定時制高校に学んでの七年間でした。昭和六十二年に発刊された「創立三〇周年記念誌」を読むとその間の経過が詳しく書かれています。良い恩師の先生方に出会い、切磋琢磨し合った仲間や友人にも恵まれて成長、大過なく今日に至った来し方に感謝したいと思います。

学園理事会、校長先生方々のご尽力で秋には創立七〇周年記念式典が企画されています。先般、元理事長の不祥事による災禍で一時は危機に瀕した母校ですが、学校全体の協力と奮起で今は安泰に向かっているものと確信していますが、このイベントを契機として更に飛躍してほしいものです。会員諸氏におかれましては十一月二十一日、大阪駅前にあるホテルで開催の「創立七〇周年記念パーティ」には是非参加して慶事を祝ってやって下さい。

浪工会の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。さて、本校の歴史を鑑みますと、我が人生そのものであったように感慨深いものがあります。昭和十三年に浪速工業学校として設立され、昭和十六年浪速工業学校として認可され現在地に移転いたしました。私は移転の翌年二期生として入学し、二十年三月に卒業を迎えました。戦時下の学園生活はそれは厳しいものでした。卒業後、仕事に邁進する中、本校同窓会「浪工会」に請われ、同窓会長を引き受け、永年にわたり努めさせていただきました。そんな中、学園から招請され、理事会の一員と



創立七〇周年を迎えて

学園理事長

瀬川 昭

して募財のお願いを申し上げます。最近女子生徒も増えて勉学にスポーツにと張り切っている母校の後輩らを支援するため、頑張りたいと思います。

本年五月二日憲法記念日に学園は七〇年目の創立記念日を迎えました。しかし本年は、七〇年という節目の年でもあり、理事会において本年十一月二十一日に記念祝賀会を開催し、学園を盛り上げ、創立七〇年の伝統を世間にアピールしようとい

して学園運営に携わることとなりました。波乱に富んだここ数年でありました。しかし、学園を存続し、繁栄させたいという同窓会の意向もあり、平成十五年末に理事長職を引き受けました。そして、ここに創立七〇周年を迎えることが出来ました。ひとえに同窓会諸氏の後ろ盾のおかげと感謝しております。この、浪速工業学校に始まる星翔高等学校の七〇年の歴史は、我が人生の歴史であつたと思う次第です。現在の星翔高等学校の歴史が、さらに百年、二百年と連綿として築かれていくことを願ってやみません。同窓会の皆様方のためみない後ろ盾を今後も母校にお願い申し上げます。



創立七〇周年を迎えるにあたり

星翔高等学校校長

楠本 義一

うことになりました。学園の歴史を振り返ってみますと、工業科の足跡は七〇年、普通科は三十四年、国際科は十六年の歴史があり、その間二万数千人の卒業生を輩出しています。卒業生諸氏の中に、大学教授・弁護士・学校教員・政治家・実業家・エンジニア等々日本社会で貢献活躍されている方々がたくさんおられ頼もしい限りです。中でも世界的に貢献された方でカラオケの発明者であり、イグ・ノーベル賞を受賞された井上大佑さんは、私にとつて忘れることが出来ない卒業生であります。井上さんを含め立派な卒業生を持つ本学園は、更に発展していかなばなりません。大阪府の私学助成が一〇%もカットされる今後、私学経営は更に厳しくなしていきますが、学園理事会と教職員が一体となり努力邁進していかねばこの難局は乗り越えることが出来ないでしょう。どうか同窓会の皆様方も学園存続のためにご尽力とご協力の程をお願い申し上げます。

また来る十一月二十一日には学園創立七〇周年記念祝賀会にも是非ご参加いただき、合わせて記念募金のご協力もお願い申し上げます。では皆様方のご多幸とご健勝をお祈りいたしまして筆を置かせていただきます。

校門前通路は母校が村に寄付

星翔高校に改名されるまでの浪速工業学校が大阪市申津の地から現在地に移設されて来たのは昭和十六年春のことです。最初は薫英高校の場所も考えられたようですが、校地が狭いということで味舌村大字味舌下・正音寺の田圃の真ん中が選ばれました。後に母校の数学の教師でもあった馬場英三氏が村役場の意向も受けて移設実現に奔走されたようです。

昭和三年開設の阪急正雀駅ができるまでは全くの農村地帯であった味舌村ですが、同時に男女二つの上級学校（現在の高校）が進出してきたのですから、当時三千人少しの人口の村は大問題であったと思います。戦前に村長をされていた馬場英三氏が教育施設の誘致に働かれたようです。味舌村大字味舌下・正音寺の農地一〇、二七五坪が村の薦めもあり地主ら二十三人と昭和十五年十月に売買契約、買収となりました。当時の地価は安く坪当たりは九円でした。実測では一三、〇〇〇坪あったといいますが、最近マンションに転売された校地をのぞいても一万坪近くの校地があり他の高校に比して遜色はないと思います。最初の難題は生徒らの通学路でありました。薫英

横の府道からは二尺幅の農道しかない学校用地でした。そこに買収条件として四米幅の道路を学校が設置することになりました。距離は約百八〇米。側溝付きの通学路は完成すると共に村に寄贈され、現摂津市道となっています。当時の味舌村は小学校、村役場、農協共に山田川の堤防道を利用して



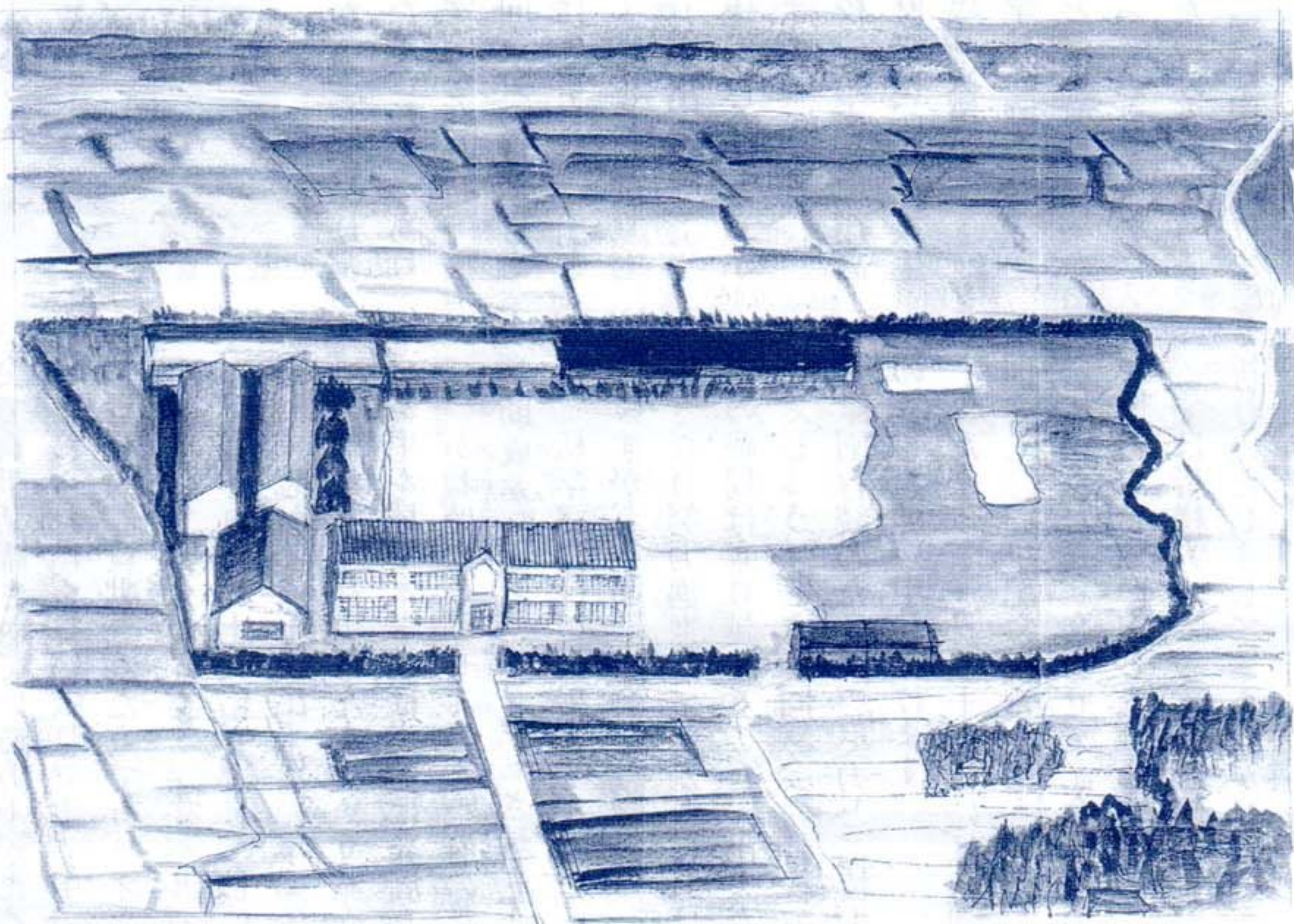
いました。豪華な四米幅の新道が完成した後、ここを正面として利用することになりました。

筆者は戦後すぐ、小学校卒業と同時に入学しましたが、一年生の数学は馬場英三先生でした。手に竹鞭のような物を持ち、私語する生徒がおれば席まで行きピシッと殴られました。悪ガキたちも恐れてシーンとした授業内容で嫌いな数学の授業が頭に染み込んで行ったのを記憶しています。偉い先生でした。が直ぐに辞めて行かれました。

菜の花や蛍の道

浪速工業学校の出来た昭和十六年は第二次大戦の二年目であり、物資の無くなって行く時代でした。真っ白の壁と茶色の柱の校舎は周囲の畠の中でひととき目を引く存在でした。最初の鉄筋校舎は昭和三十六年

に建築されていますが、それまでは戦前に建てられた二列の木造校舎で授業が行われていました。農地に建物を建てる場合、昔は盛り土が大変でした。旧の校舎と校舎の間には広い矩形の池が掘られていましたがそれは掘った土を利用するためでした。水面にはきれいな蓮の花が咲き、ザリ蟹や亀、小魚もいました。学校の周りには見渡す限りの農地で、春には菜の花、えんどうの花が満開でした。通学路に良い匂いが漂っていました。初夏になると蛍が群れ飛んで夜間生を慰めました。自然がいっぱいの学校は懐かしいものですが、夏には教室に蚊がぎよ



うさん舞い込んできたり、冬には暖房設備が無いために、割れたガラス窓から北風が入って厳しい寒さでした。

山田川の木橋を越えると百米の道が真つすぐに延びていました。浪工の生徒以外に誰も通る者がいません。ここを利用して体育の時間、ストップウォッチで百米走の計測が行われました。学校にプールは無く校外のため池や安威川の堰止めの水を利用して泳ぎの授業も行われました。昭和四一年には本館が、続いて体育館が新設竣工しています。



ご退職された先生方の近況報告

〔順不同・敬称略〕

■佐々木慶哉

＜社会科＞

現在、岸和田市に住まいを移されており、90歳になられ、一昨年脳梗塞のため、歩行困難になられ、難聴の後遺症が残っているそうです。最近読書の毎日をご過ごされているそうです。

■平田 道夫

＜電子科＞

病気がちで阪大病院、循環器センターに通院されておられるとのこと。

■勝野 省三

＜機械科＞

平成14年前立腺癌の治療をされ、15年には胃癌の手術をされましたが現在快方に向かわれておられますが歩行がづらいようです。

■徳山 節夫

＜英語科＞

四国の歩き遍路を長年され、その間ハイキング仲間とあちこちの山々を歩かれたり、外国での登山に行かれたりされています。昨年夏にはオランダでのフォーデーマーチに参加されたり、京都新聞主催の囲碁大会に参加されたりの日々をご過ごされています。

■森岡 茂

＜機械科＞

3年前には体調を崩されましたが、現在は趣味の盆栽とステンドグラスに精を出されておられるようです。



■橋本 克己

＜数学科＞

同窓会・相談役。星翔高等学校の評議委員。毎日フィットネスクラブで過ごし、現役時代からの写真撮影、最近は麻雀を習ったりと多趣味の日々だそうです。

■村井 隆夫

＜理科＞

退職した昨年より町内の老人クラブの役員で、町内・学区などの行事や会議に出かけたり、畑仕事・害虫の駆除などの生活をされておられます。

■宮部 善浄

＜社会科＞

非常にお元気で寺務に精励されています。

■岡部 貞夫

＜電子科＞

登山が趣味で教職員グループの山歩会や京田辺山友会に籍を置き、昨年7月には中国の九寨溝や四姑娘山の山頂をトレッキング。チベットまでトレッキング。や、ボランティアでは遺跡発掘に参加されたりと、多忙な日々をご過ごされて居られるようです。

■久富 實

＜社会科＞

同窓会・相談役。星翔高等学校の理事。ウォーキングやダイエット等、健康管理に励まれて居られます。

■岸田 弘

＜電気科＞

同窓会・副会長。地元の自治会長。小学校のパソコン教室の講師(ボランティア)。ダンス講座の講師。公私とも大変お忙しい、金曜以外は日程が詰まって居られます。

■行澤 勇

＜電子科＞

前同窓会会長。現在は同窓会・相談役。星翔高等学校の評議委員。地元の自治会長としてもご活躍されています。

■山田 知輝

＜電気科＞

青少年団体の役員として、ボランティア活動に専念されています。

■久保 護

＜理科＞

週2回近郊の大学の図書館に勤めておられ、沢山の本を読む機会が出来年齢にあったライフワークにされておられます。持病の糖尿病のため、朝夕2回の散歩に汗を流されて居られます。

■林 義晟

＜機械科＞

同窓会・役員。日本モータースポーツ専門学校新大阪校に勤務されて居られます。

■藤原 隆義

＜機械科＞

趣味の園芸・盆栽に励まれて、健康な日々を送られている様子が電話取材からも伺えました。

■堀川 二六

＜電子科＞

家庭菜園(野菜作り)は土造りからと、毎年、土造りに専念され、立派な作物(トマト・胡瓜・茄子・薩摩芋など)を収穫されています。

■山本 甫

＜理科＞

農園芸と農業ボランティアに毎日畑に出られておられ、750坪の耕作面積に増やされ、収穫は自宅駐車場で有機野菜のガレージセールをされており軽トラック一杯の野菜が10分で完売だそうです。



＜逝去された先生方＞

中島 節二	小笠原長俊	三森 太郎
山口 和男	高橋 一夫	水野 達夫
野口 浩	梶田 昇	岡本 実
音堂卯之助	水野 晃	藤井 国明
黒瀬 シキ	吉田 昇	奥野 喜好
汐見 修三	市場 嘉一	西橋 肇

— 謹んでお悔み申し上げます —

母校が迎える創立七〇周年 記念事業に募金のお願い

昭和十三年に大阪市中津浜で学校が創設され昭和十六年に摂津市の現在地に移転してきた浪速工業高校・星翔高校が今年で七〇周年を迎えることになりました。それを記念して十一月二十一日にはJR大阪駅前のホテルで盛大な記念式典が行われます。同窓会である浪工会も全面的に賛同し、会員諸兄弟姉妹に参加を呼びかけたいと思います。

同封した案内資料にも掲載されているように、創立七〇周年記念事業として校門の新設や付近の整備、本館建物の壁面改修などが実施されます。それらの費用を捻出するために「創立七〇周年実行委員会」では個人対象として一口・五千円の寄付を呼びかけています。

す。浪工会としましては会員各位にお願いしたいと考えます。式典参加会費とは別に振り込んで頂ければ幸いです。お願いするに先立ち同窓会役員や浪工会関係の理事、評議員は実行委員会より要請されている寄付金について協力することを申し合わせています。

式典には多数ご参加を

本年秋の好日を選んでJR大阪駅前のホテルで開催される「創立七〇周年記念式典」には同窓会より百名を上回る会員の参加が要望されています。これまで行われた創立三〇周年や創立五〇周年記念式典の参加者も浪工会員が多数を占めましたので期待はしています。

です。今は他の私学の多くと同様、同窓会元役員が学園理事長に就任、経営もようやく安定してきたと聞いています。そのような時期にお祝いの式典が行われる訳ですから同窓会員各位におかれましては御支援をお願いしたいものと考えます。

が、中学校や学校関係者のことを考え、平日の午後の式典になったと聞きます。平日ではサラリーマン会員の出席は困難ではないかとも考えます。事情の許す浪工会員の協力が必要と思っています。先年には元理事長の不祥事があり、母校の校地が一部売却されるという不祥事があったことは事実

式典に参加して下さる方には同封致しました用紙で参加会費六千円を申し込みと同時に振り込んで頂きたいと思っています。保護者会（PTA）より女性も多く参加されますので奥様のご同伴も大歓迎です。申し訳ありませんが、その場合は二名分の会費をよろしく願います。

3300万円を学校法人に寄付

元理事長による学園危機の際、浪工会会計より学校法人運営費として用立てた3300万円の貸し付け金については創立70周年を機に寄付することに致します。

この件については本年度の役員会・委員会の総会で承認を得ています。



旧校門

クラブ援助費のお願い

浪工会では後輩たちのために大会に出場するクラブやクラブ員のために援助して参りました。それらの基準は

- 全国大会・インターハイ 団体10万円 個人2万円
- 近畿大会 団体5万円 個人1万円

最近では学校のクラブ活動の強化策もあり、女子クラブの新設や各クラブの活躍が目立つようになりました。浪工会の年間援助額である六〇万円を毎年オーバーするようになりました。

十九年度の実績では

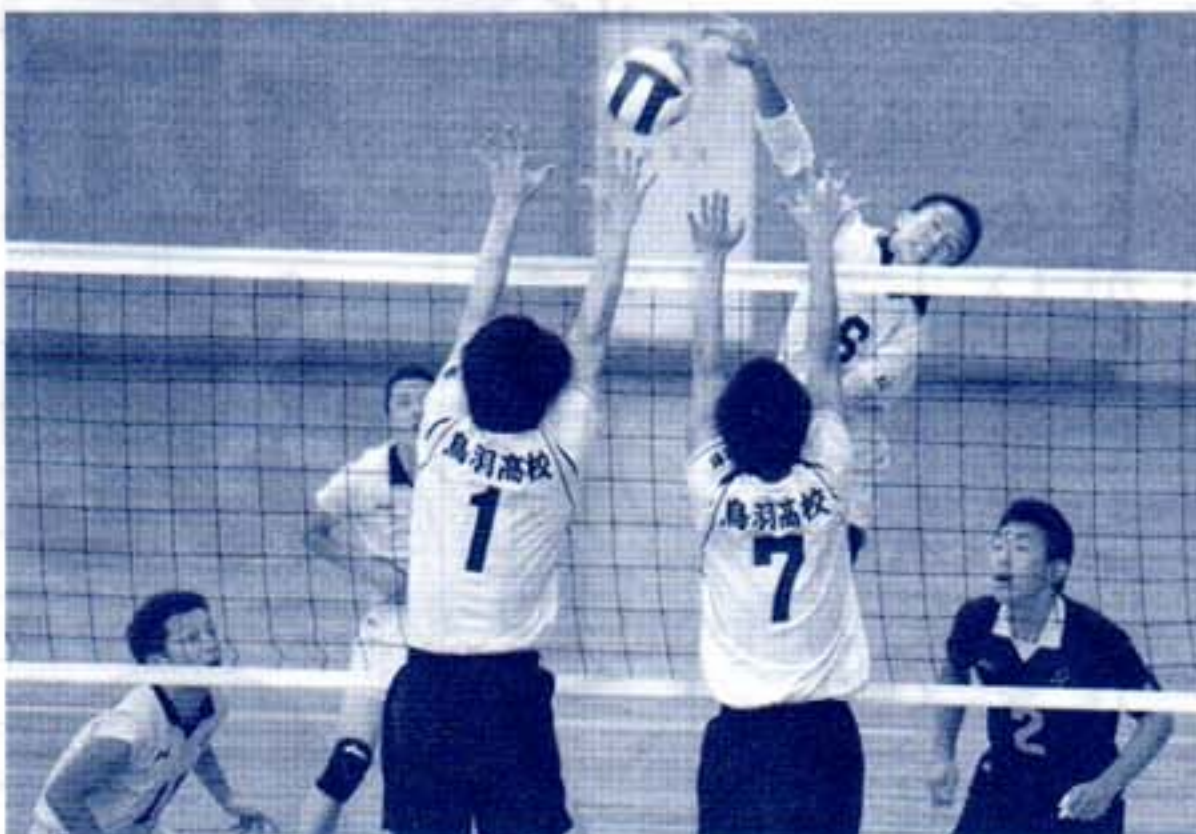
女子駅伝	21万円
女子柔道部	12万円
卓球部	10万円
バレーボール部	10万円
バスケットボール部	5万円
テニス部	5万円

合計六十三万円の支出となっています。限られた浪工会会計からはこれ以上、予算を割く訳には参りません。そこで、会員各位のご好意に訴えたいものと思います。特定のクラブを名指しして頂いても結構ですから、浪工会事務局（星翔高校 ☎ 〇六・六三八一・〇二二〇）にご連絡下されば振り込み方法についてご案内を申し上げます。

平成19年度 スポーツ部の主な戦績

バレーボール部

- * 第54回大阪府私立高等学校バレーボール優勝大会 準優勝
- * 大阪高校新人大会兼第39回全国高校選抜優勝大会大阪地区予選 ベスト4



女子駅伝部

- * 大阪高校駅伝 5位
- * 大阪高校総合体育大会駅伝 3位
- * 平成19年度全国インターハイ 3000mW 東 優佳 出場
- * 小松陸協記録会 2000mSC 華岡 みか 日本最高記録
- * 近畿ユース選手権 2年 800m 華岡 みか 5位
2年 3000mW 東 優佳 3位



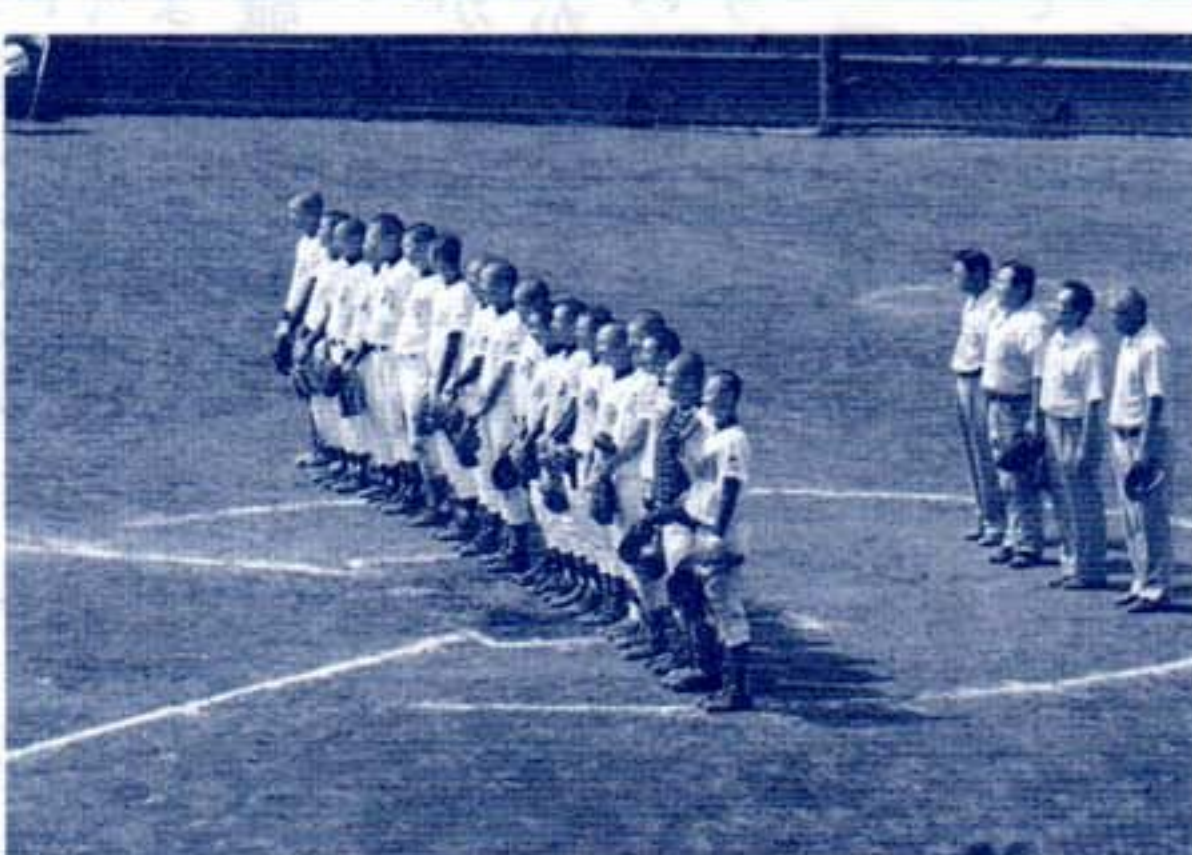
ソフトテニス部

- * 第54回大阪私立高等学校総合体育大会 団体戦 準優勝
- * 大阪高等学校総合体育大会 団体戦 3位



硬式野球部

- * 大阪工業高等学校野球会春季大会 3位
- * 秋季近畿地区高校野球大会大阪府予選 4回戦



ラグビー部

- * 大阪高等学校新人大会 10人制の部 3位

女子サッカー部

- * 大阪高校総合体育大会 7位
- * 関西高校女子サッカーリーグ3部 3位
- * JFA ガールズフェスティバル和歌山大会 優勝



女子柔道部

- * 大阪府高等学校柔道新人大会 団体 ベスト8
個人 中村 優子 2位



卓球部

- * 第61回近畿高等学校卓球選手権大会 ベスト16
- * 大阪高等学校新人卓球大会 6位
- * 大阪高等学校総合体育大会 7位



男子バスケットボール部

- * 第38回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会大阪地区予選 ベスト8
- * 第54回大阪私立高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会 3位
- * 第55回大阪高等学校バスケットボール新人大会 ベスト8



母校の近況

星翔高校

平成19年度 進路指導概要

就職

十九年度は昨年に比べ一人当たりの求人社数が、数字の上では○・五ポイント増え一人三・五社になっています。求人方法としては昨年同様、

【指定求人】(学校単位に求人)

【公開求人】(全国に公開した求人)がありますので、この数字が概にすべてではありません。

生徒の傾向としては、地元志向が強く、通勤時間が一時間以内の所という希望が多くありました。

就職試験の受験に際しては、まず学力面で簡単な一般常識問題ができない(準備していない)ことが挙げられます。また、最近面接重視で行われているのですが、受験時の身だしなみが来ていない

求人企業数 (社)

企業人数	19年度	18年度	17年度
10,000人以上	11		
5,000～9,999	14		
1,000～4,999	51	76	59
500～999	44	34	23
300～499	30	22	26
100～299	87	73	60
50～99	48	30	41
49以下	79	64	70
合計	364	299	279

平成20年7月29日現在 求人社数332社

ことで失敗する生徒や、コミュニケーション不足で会話が成り立たない。緊張しすぎて「普段の元気がない」「活気がない」など内弁慶的な傾向がうかがえます。今年あったことで保護者の皆様にも考えてもらいたい事例がありましたので、紹介します。

七月当初より就職活動をしている生徒がいました。なかなか自分で何ができるか分からず迷い、ある程度絞り込んでから諸条件(休日など)が合わない諦めてしまふ。担任も色々ピックアップして持つて帰らせても、良い返事が帰って来ない。また、本人の考えていた求人が出たので、「保護者と相談しなさい」と持つて帰らせても、保護者より将来的に転勤の可能性があるので「受験させられません」という回答でした。

十八歳の子ども(生徒)たちは周りの大人が背中を押してあげれば、それなりに成長するものです。この時期、子ども達を自立させ、自分で生活ができる力を付けていかなければいけないのではないのでしょうか。一般的に「親離れ」「子離れ」という言葉をよく使いますが、子ども達はなかなか親元を離れたくないものです。それを親が背中を押すことによって、親離れをし

卒業生進路決定状況<平成19年度>

卒業生 人数	就職					進学						小計
	学推	家業	縁故	その他	小計	大1部	大2部	短1部	短2部	各種専修	予備校その他	
232	99	0	8	6	113	57	0	8	0	48	6	119

主な進路先

進学	
【国公立大学】産業技術短大より和歌山大学編入・舞鶴高専編入後信州大学より名古屋大学院・豊橋技術科学大学など	
【私立大学】大阪産業大学・大阪学院大学・大阪電気通信大学・大阪経済法科大学・甲子園大学・大手前大学・追手門学院大学・福井工業大学・宝塚造形芸術大学・大阪成蹊大学・阪奈大学	
【短期大学】産業技術短期大学	
【専門学校】ホンダテクニカルカレッジ・トヨタ神戸自動車大学校・日産京都自動車大学校	
就職	
(株)神戸製鋼所・東陽建設工機(株)・アベックス(株)・関西メルテック(株)・トヨタカローラ新大阪(株)・稲畑香料(株)・桃栄金属工業(株)・東海旅客鉄道(株)・ダイハツ工業(株)・(株)日立建機ティエラ・住金関西工業(株)・トナミ運輸(株)・山九(株)・(株)阪電工・(株)神戸屋・日新総合建材(株)・フジテック(株)・東邦電気工業(株)など	

て成長するのだと思います。若い彼らはすぐに新しい状況に適応していく力を持っています。現状を見ると一人っ子で親の方が「子離れ」できずに、足を引っ張るケースが増えています。社会に出てひとり立ちして成長する子ども達を、影で支えていけるようにしていただけないでしょうか。

もう一つは、子どもの状況を知らない保護者です。たとえば子どもの受ける企業も知らず、本人に「自分のことは自分で決めて、受験するように言っていますから」と返事をすると保護者です。これは単にほったらかしにしているだけで、

進学

状況を把握しながら「自分のことは自分で考えなさい」と影で子どもを見守ってほしいと思います。

今年も大学の進学の決定者六十五名は、指定校推薦・スポーツ推薦・AO等の推薦入試で一〇〇%になっています。昨年も指定校やAO入試では、合格者に基礎学力の向上のため、入学前学習(課題)を行う学校がほとんどです。その内容はレポートや作文のほかに、インターネットを利用したものも出てきています。一般入試で頑張

った生徒もいましたが、結果が出ず来年度に再チャレンジすることです。また、近頃は入学しやすくなった分、安易に進む生徒が増えています。入ってから現実を知り、一年未満で退学する生徒も増えています。将来の目標を持ち、「何のために進学するのか」という意識を持つて大学進学を考えてください。

専門学校に進む生徒も例年通りで、進学を考える意識の中では専門学校を考えている人の方が、自分の進みたい方向をよく考えているので、将来の目的意識が高いように思います。



工業技術系キャラクター「翔ちゃん」

星翔ジュニアマイスター制度

星翔ジュニアマイスター制度とは？

星翔高等学校は前身を浪速工業高校として、数多くの有能な技術者・技能者を社会へ輩出して来ましたが、卒業生の中には起業し、成功されている方も多く、様々な分野で活躍されています。今日では近畿でも希な工業科を設置する私立高校として、ものづくり・資格取得などに力を注いでいます。

このたび同窓会（浪工会）の全面的な支援のもと、在校生に対する資格取得顕彰制度として発足することになりました。

この制度は工業科で身につけた知識・技術・技能を積極的に評価

■制度の骨子

取得した資格や合格した検定試験などを点数化し、規定に達した生徒に対して国家資格の受験に要した費用の一部を資格奨学金（図書券等）として支給する。

この制度にはシルバー賞とゴールド賞の区分があり資格取得のほか工業系の大会成績（コンクール含む）なども評価対象とする。

現在、得点の合計が10点〜15点ならシルバー賞、16点以上をゴールド賞として認定することになっている。（規定により7点以上の資格を一つ以上取得すること）

■点数例

- 【20点】第一種電気工事士
- 【7点】第二種電気工事士・二級海上特殊無線技士・工事担任者・乙種消防設備士
- 【4点】乙種四類危険物取扱者 他



し支援するための本校独自の資格取得奨励制度です。

受賞者の声

『就職試験の面接で「資格をたくさん持っていますね」と言われました。資格は在学中に取得しておいてよかったと思いました。専門的な資格は先生がわかりやすく教えてくれたので、とても頼りになりました。』

『専門的な資格を持っていたので就職に有利でした。いろいろ資格がとれてよかったです。』

『資格を取るにあたって先生たちが丁寧に教えてくれました。』

『僕の資格は授業と関連したものが多く、授業で勉強したことが、そのまま資格取得につながりました。また、予習にもなりました。』

賞状を授与された者

学園賞〔1名〕

佐々木健治（電子工学）

精励賞〔17名〕

- 岸本 竜弥（機械工学）
- 仲西 一磨（機械工学）
- 黒木 武人（機械工学）
- 勝俣 耕作（電子機械工学）
- 北林 良平（電子機械工学）
- 田中 修二（電子機械工学）
- 若宮 慎太（電子機械工学）
- 植田健太郎（電気工学）
- 豊平省一郎（電気工学）
- 鈴木 翔吾（電子工学）
- 浅野 昇之（普通）
- 遠藤 大輔（普通）
- 高橋 良輔（普通）
- 井上 弘基（普通）
- 喜多 周（普通）
- 志水 優（普通）
- 惣前 拓弥（普通）

三カ年皆勤賞〔26名〕

- 谷口 嘉昭（機械工学）
- 仲西 一磨（機械工学）
- 松本 涉（機械工学）
- 水元 晃司（機械工学）
- 本野 早徒（機械工学）
- 松谷 直哉（機械工学）
- 勝俣 耕作（電子機械工学）
- 松本 翔（電子機械工学）
- 若宮 慎太（電子機械工学）
- 小松 泰大（電気工学）

功労賞〔19名〕

- 永田 光寛（電気工学）
- 山本 義勝（電気工学）
- 大槻 琢巳（電子工学）
- 城 紳也（電子工学）
- 多田 有希（電子工学）
- 富田龍太郎（電子工学）
- 西澤 昌弘（電子工学）
- 福成 真（電子工学）
- 金谷 成勝（普通）
- 高橋 良輔（普通）
- 中田 真矢（普通）
- 村田 和正（普通）
- 吉田 浩章（普通）
- 市井 伸弥（普通）
- 喜多 周（普通）
- 惣前 拓弥（普通）

外部表彰〔18名〕

- 黒木 武人（生徒会）
- 矢野 大地（生徒会）
- 佐々木健治（生徒会）
- 谷本 栄二（生徒会）
- 南 一貫（生徒会）
- 黒木 武人（電子機械研究部）
- 池上 直隆（美術部）
- 池田 一馬（卓球部）
- 勝俣 耕作（写真部）
- 北山 夢大（アーチェリー部）
- 越智 亮介（バドミントン部）
- 白瀧 淳（機械研究部）
- 高橋 良輔（バレーボール部）
- 竹下 大樹（硬式野球部）
- 中田 真矢（サッカー部）
- 井上 弘基（陸上部）
- 喜多 周（バスケットボール部）

スポーツ栄誉賞〔6名〕

- 中島 涉（バレーボール部）
- 金谷 成勝（バレーボール部）
- 高橋 良輔（バレーボール部）
- 中留 弘揮（バレーボール部）
- 惣前 拓弥（バレーボール部）
- 中川 友仁（バレーボール部）

星翔ジュニアマイスター顕彰制度表彰〔4名〕

- 佐々木健治（電子工学）
- 鈴木 翔吾（電子工学）
- 谷本 栄二（電子工学）
- 豊平省一郎（電気工学）

志水 優（ソフトテニス部）
弓場上和紀（柔道部）